



奈良県感染症情報

令和6年第19週(5月6日～5月12日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- エイズ(後天性免疫不全症候群)とHIV(ヒト免疫不全ウイルス)と、検査について

◆ 定点把握感染症報告状況(定点あたり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点あたり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	4.50	(2.97)	➔	➔	➔	↗
2	RSウイルス感染症	3.35	(3.21)	↘	➔	↘	↓
3	新型コロナウイルス感染症	2.67	(1.85)	↘	↘	↘	➔
4	A群溶連菌咽頭炎	2.53	(1.52)	➔	➔	➔	➔
5	手足口病	2.35	(1.36)	↑	↑	↑	➔

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

※新型コロナウイルス感染症等、基準値のない疾患については発生状況の評価を行っておりません。

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**➔横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

感染性胃腸炎の定点あたり報告数は4.50で、前週の2.97から増加しています。手指や食品を介して感染するため、食事前やトイレの後には必ず手を洗い、食品を衛生的に取り扱う等、感染予防対策をお願いします。

RSウイルス感染症の定点あたり報告数は3.35でまだ多い状況が続いています。近年、RSウイルス感染症の流行時期が早まっており、今年は昨年よりもさらに早い時期での流行が見られるので、引き続き今後の動向に注意が必要です。

手足口病の定点あたり報告数は2.35で、過去5週間平均数と比べて増加傾向です。手足口病は、口の中や手足などに水疱性の発疹が出る感染症で、ウイルスの感染によって起こります。子どもを中心に、主に夏頃流行するので、乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。治った後にも比較的長い期間、便にウイルスが排泄されることもあるので、おむつを交換する時には、排泄物を適切に処理し、流水と石けんで十分に手を洗いましょう。

◆ エイズ(後天性免疫不全症候群)とHIV(ヒト免疫不全ウイルス)と、検査について ◆

エイズは、HIVの感染によって起こる病気です。感染すると、数年～十数年の無症候期を経て、免疫の働きが徐々に低下し、健康な状態ではかかるといけない病原体にも感染しやすくなり、さまざまな病気を発症します。この病気の状態を「エイズ」といい、発症後未治療の場合の予後は2～3年です。HIVは血液、精液、膣分泌液などに多く含まれますので、それらが粘膜や傷のついた皮膚に触れないようにすることが必要です。一番多い感染経路である性行為の場合、HIV感染を防ぐためには、必ずコンドームを使用すること、また、相手に使用してもらうことが重要です。保健所ではHIVの検査を無料で実施しています。

「HIV検査普及週間(6月1日～7日)」には、県内の保健所で特別に夜間検査を実施しています。

少しでもHIV感染の心配があれば、検査を受けてみてください。

検査を受けるには、電話での予約が必要です。

HIV感染経路

- ・性行為による感染(精液・膣分泌液)
- ・血液を介しての感染(注射器の共用、針さしなど)
- ・母子感染(胎内や母乳から)

検査を受けるタイミング

- ・感染した可能性がある時点から、約3ヶ月が目安(3ヶ月以内でも他人に感染させる可能性はある)

保健所名	所在地	電話番号
奈良市保健所	奈良市三条本町13-1	0742-93-8397
郡山保健所	大和郡山市満願寺町60-1 (郡山総合庁舎内)	0743-51-0194
中和保健所	橿原市常盤町605-5 (橿原総合庁舎内)	0744-48-3037
吉野保健所	吉野郡下市町新住15-3	0747-64-8132

※電話相談対応: 平日9時～17時

※氏名等: 匿名での受検可能

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 6 年 第 19 週 5 月 6 日 ~ 5 月 12 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野			
インフルエンザ	55	14	14	11	10	6		
インフルエンザ	30	3	1	20	4	2		
新型コロナウイルス感染症	147	23	37	27	35	25		
小児科定点数	34	9	9	7	6	3		
RSウイルス感染症	114	18	19	41	35	1		
咽頭結膜熱	12	4			7	1		
A群溶連菌咽頭炎	86	19	14	12	38	3		
感染性胃腸炎	153	26	57	25	38	7		
水痘	2		2					
手足口病	80	21	9	27	22	1		
伝染性紅斑								
突発性発しん	5	2	2	1				
ヘルパンギーナ	4	1	1	1	1			
流行性耳下腺炎	2			2				
眼科定点数	10	3	3	2	2	0		
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	13	8	1	1	3			
基幹定点数	6	7	2	7	7	7		
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核2件(中和2)
3類感染症	
4類感染症	E型肝炎1件(郡山1) レジオネラ症1件(郡山1)
5類感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症2件(奈良市1、郡山1) 梅毒1件(奈良市1)

❖ 入院基幹定点報告状況 ❖

インフルエンザ	1	新型コロナウイルス感染症	14
---------	---	--------------	----

❖ 第19週のトピックス ❖

第33回感染研シンポジウム(国立感染症研究所HP)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/open-campus/niidsympo/12669-niidsymposium2024.html>

※データは報告数集計の速報値として公開するものであり、後日奈良県感染症情報(週報)、さらには確定データとしての年報において修正される場合があります。

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男					1		1	1	1	2	3	4	4	1							18	6280
	女				1				1	1	1	3	2	2		1		2				12	5428
新型コロナウイルス感染症	男		1	2	1		1	1	1	1		1	4	8	6	8	3	6	6	6	6	61	3443
	女		1	2									7	3	7	10	10	20	5	9	10	86	3936
RSウイルス感染症	男		14	20	15	5	5	2														61	573
	女		4	13	13	8	7	7	1													53	562
咽頭結膜熱	男			3	1	1																5	267
	女			1	3				1	1			1									7	229
A群溶連菌咽頭炎	男				3	5	2	11	7	3	2	3	12		1							49	909
	女			2	7	5	5	6	4	2	2	1	3									37	706
感染性胃腸炎	男		2	12	7	9	12	6	7	3	3	3	8	13	3							88	1908
	女		1	5	6	6	8	9	9	3	2	3	2	2	9							65	1643
水痘	男						1				1											2	31
	女																						19
手足口病	男	1	5	12	7	6	3	6	1	1		1	1									44	221
	女		3	20	4	5	3			1												36	188
伝染性紅斑	男																						
	女																						
突発性発しん	男																						65
	女			5																		5	63
ヘルパンギーナ	男			1																		1	10
	女				1		1						1									3	19
流行性耳下腺炎	男			1		1																2	8
	女																						4
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						1
流行性角結膜炎	男						3					1	1									9	56
	女															2	1	1				4	58
細菌性髄膜炎	男																						3
	女																						
無菌性髄膜炎	男																						
	女																						
マイコプラズマ肺炎	男																						3
	女																						2
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	男																						1
	女																						

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

